

企業経営

Corporate management trend surveys

動向調査

Number

154

2023.7.27

公益財団法人
徳島経済研究所

2023年4～6月期の業況判断はやや悪化 先行き7～9月期は改善し、10～12月期は再び悪化する 見通し

要約

県内企業（全産業）の経営動向を調査した結果によれば、業況判断 BSI（季節調整済）について、2023年Ⅰ期（△9）と比べ2023年Ⅱ期（△13）はやや悪化（△4ポイント）した。なお、前回調査時の予想（△12）とほぼ同じ水準。業種別では、製造業（Ⅰ期△12→Ⅱ期△22）は悪化し、非製造業（同△8→同△9）はほぼ横ばい。売上げ BSI（同6→同△3）、収益 BSI（同△6→同△12）は悪化した。

先行きの業況判断 BSI のⅢ期予想は4に改善し、続くⅣ期予想では△4へと再び悪化する見通し。**BSI がプラスになるのは2014年Ⅰ期以来、9年6ヵ月振り。**

2023年Ⅱ期に設備投資を実施する企業の比率は前年同期と比べ11.6ポイント低下したが、総投資額は約204億円で2.6%増加した。業種別では製造業が2.1%増、非製造業が7.3%増であった。先行きⅢ期に計画する企業の比率は7.1ポイント低下するが、総投資額は約455億円で70.2%増の見込み。続くⅣ期は約969億円で383.2%増となる見込みである。

なお、今後1年間の設備投資意欲は2023年Ⅰ期と比べ、製造業、非製造業とも改善している。

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業409社、回答企業265社、回答率64.8%
調査対象期間	2023年4～6月期の実績見込み、7～9月期および10～12月期の予想
調査時点	2023年6月上旬～7月上旬

※1～3月期をⅠ期、4～6月期をⅡ期、7～9月期をⅢ期、10～12月期をⅣ期とする。

※153回調査から対象企業を拡充しており、152回調査以前とは母数が異なるため比較には注意が必要。

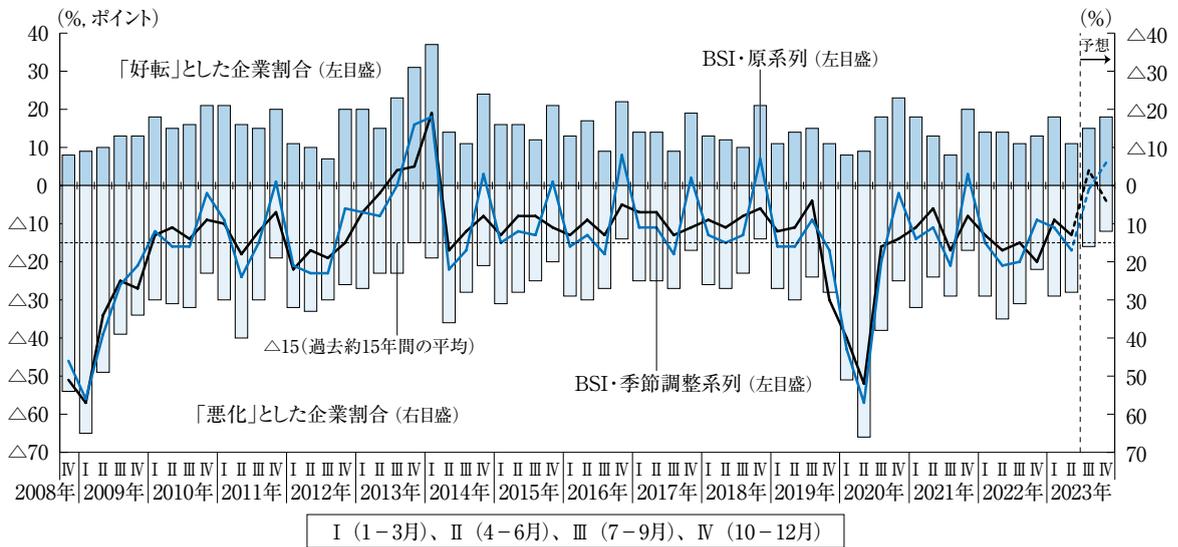
1. 概況
(全業種)

【2023年4～6月期の実績見込み】業況判断はやや悪化

県内企業のⅡ期のBSI（季節調整済）をみると、2023年Ⅰ期と比べ、業況判断BSI（△9→△13）はやや悪化し、売上げBSI（6→△3）、収益BSI（△6→△12）も悪化した。円安や原材料価格の高騰による影響が大きく、利益確保に苦心する企業が多い。

※ BSI (Business Survey Index) …業況が「好転(増加)」と回答した企業割合から「悪化(減少)」と回答した企業割合を引いた数値。

企業経営者による業況判断

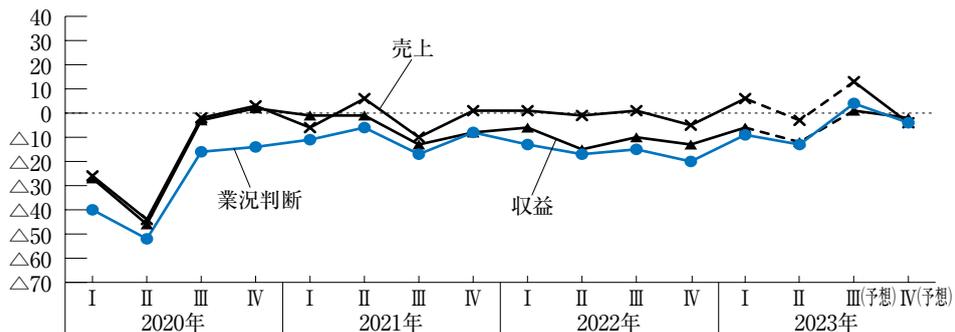


注：季節調整は、米国センサス局開発の X-12-ARIMA により実施

【7～9月期・10～12月期の予想】業況判断は、Ⅲ期は改善し9年6ヵ月振りにプラス、Ⅳ期は再び悪化する見通し

Ⅲ期の予想は、Ⅱ期に比べ、業況判断BSI（△13→4）、売上げBSI（△3→13）、収益

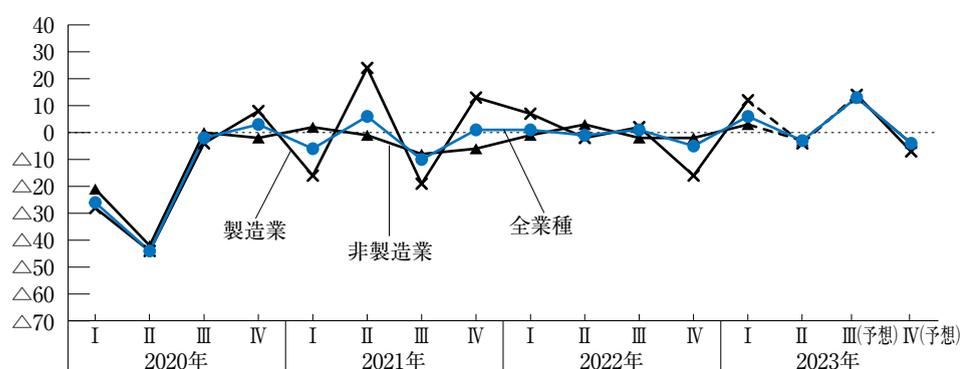
全業種BSI



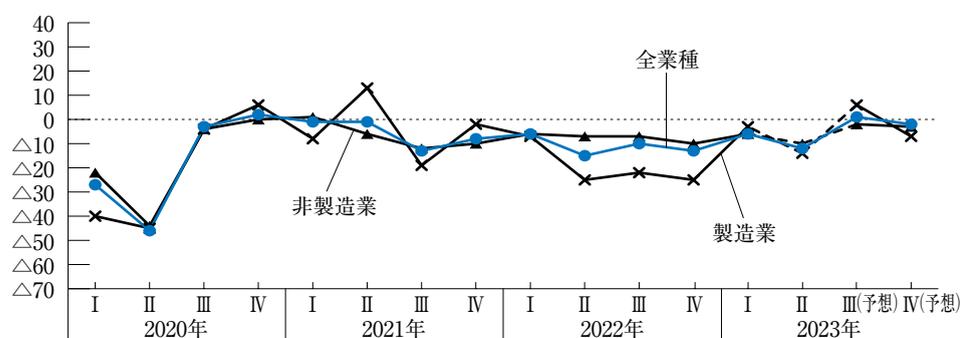
BSI ($\Delta 12 \rightarrow 1$)のいずれも改善する見通しである。なお、この業況判断 BSI は、過去約15年(2008年Ⅱ期以降)の平均($\Delta 15$)を上回る水準である。続くⅣ期は、業況判断 BSI ($4 \rightarrow \Delta 4$)、売上げ BSI ($13 \rightarrow \Delta 4$)は悪化し、収益 BSI ($1 \rightarrow \Delta 2$)もやや悪化する見通しとなっている。

新型コロナウイルスの「5類」移行で消費を中心にアフターコロナへの期待感が広がる一方で、原材料、エネルギー価格、人件費増加によるコスト上昇や人手不足の課題、海外経済動向の不透明感を感じる企業が業種問わず多い。

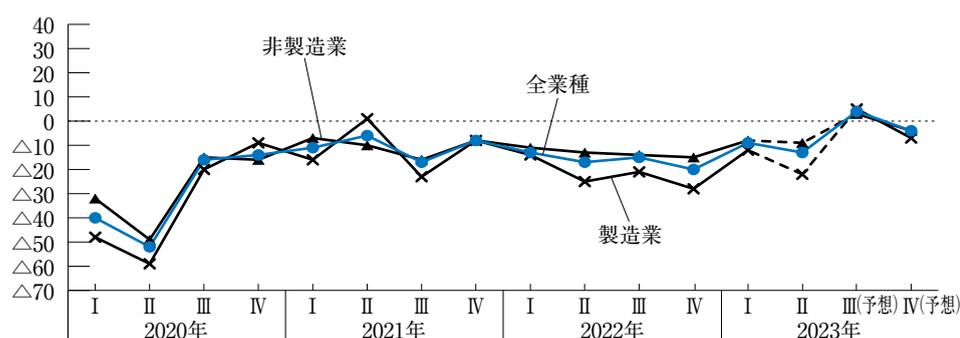
(1) 売上げBSI



(2) 収益BSI



(3) 業況BSI



2. 製造業の動向

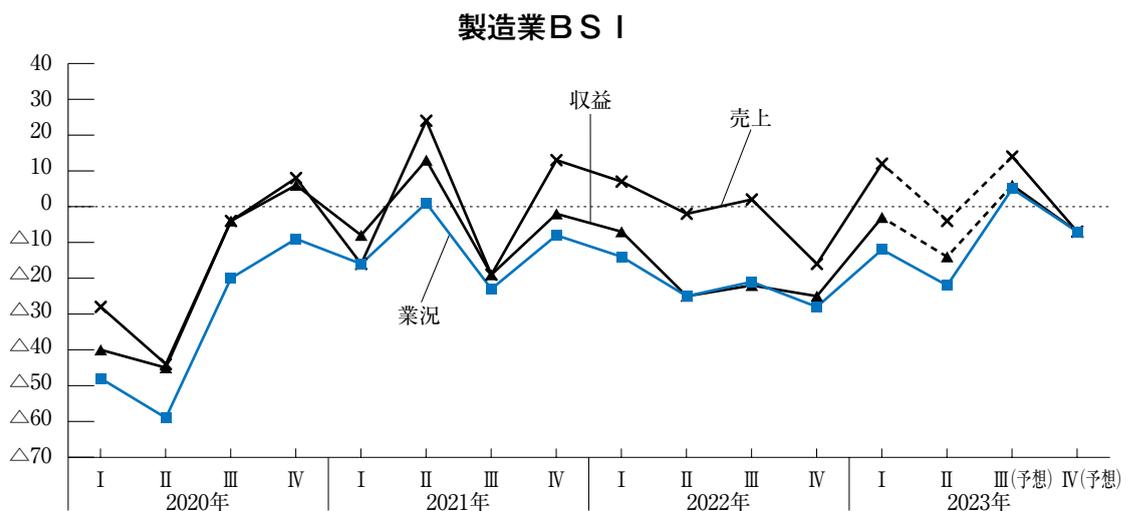
【製造業の現状】業況判断は悪化

Ⅱ期は、2023年Ⅰ期と比べ、業況判断BSI ($\Delta 12 \rightarrow \Delta 22$)、売上げBSI ($12 \rightarrow \Delta 4$)、収益BSI ($\Delta 3 \rightarrow \Delta 14$) はすべての項目で悪化した。原材料やエネルギー価格高騰によるコスト上昇分を販売価格に転嫁する一方で、一部受注に停滞感がみられたことが原因と考えられる。

【先 行 き】業況判断はⅢ期で改善するも、Ⅳ期に再び悪化する見通し

Ⅲ期はⅡ期に比べ、業況判断BSI ($\Delta 22 \rightarrow 5$)、売上げBSI ($\Delta 4 \rightarrow 14$)、収益BSI ($\Delta 14 \rightarrow 6$)とも改善すると予想されている。続くⅣ期は、業況判断BSI ($5 \rightarrow \Delta 7$)、売上げBSI ($14 \rightarrow \Delta 7$)、収益BSI ($6 \rightarrow \Delta 7$)とも悪化する見通し。

半導体をはじめとする部品の供給不足は改善しているが、原材料、エネルギー価格、人件費増加によるコスト上昇の先行きを見通せないことや、海外経済の動向が不透明なことが影響していると考えられる。



3. 非製造業の動向

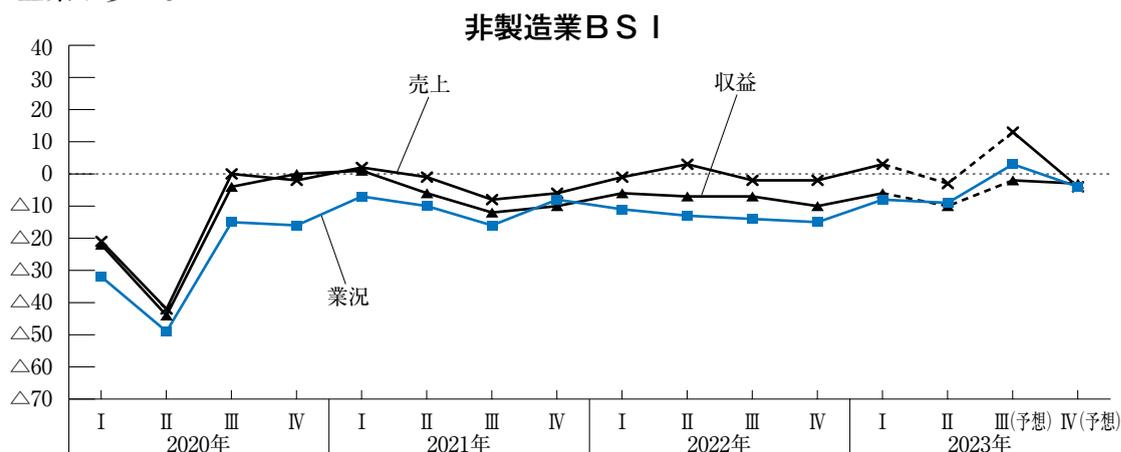
【非製造業の現状】業況判断はほぼ横ばい

Ⅱ期は、2023年Ⅰ期に比べ、業況判断BSI ($\Delta 8 \rightarrow \Delta 9$)はほぼ横ばい、売上げBSI ($3 \rightarrow \Delta 3$)、収益BSI ($\Delta 6 \rightarrow \Delta 10$)はやや悪化した。新型コロナウイルスの「5類」移行で消費がアフターコロナへシフトする一方で、物価上昇による買い控えやコスト上昇分を販売価格に転嫁しきれず収益悪化につながることを懸念する企業が多い。

【先 行 き】業況判断はⅢ期に改善し、Ⅳ期に悪化する見通し

Ⅲ期はⅡ期に比べ、業況判断 BSI ($\Delta 9 \rightarrow 3$)、売上げ BSI ($\Delta 3 \rightarrow 13$)、収益 BSI ($\Delta 10 \rightarrow \Delta 2$) は改善すると予想されている。続くⅣ期予想は、業況判断 BSI ($3 \rightarrow \Delta 4$)、売上げ BSI ($13 \rightarrow \Delta 4$) は悪化し、収益 BSI ($\Delta 2 \rightarrow \Delta 3$) はほぼ横ばいとなる見通し。

アフターコロナの消費拡大に期待感が高まる一方で、物価上昇による買い控えやコスト上昇分を販売価格に転嫁しきれず収益悪化につながることや人手不足を懸念する企業が多い。

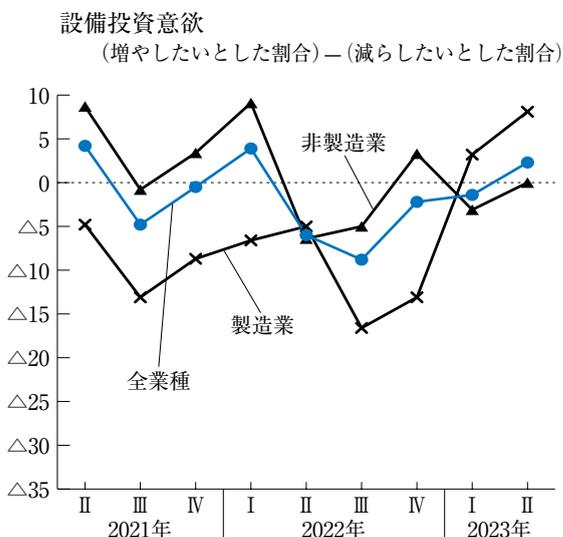


4. 設備投資の動向

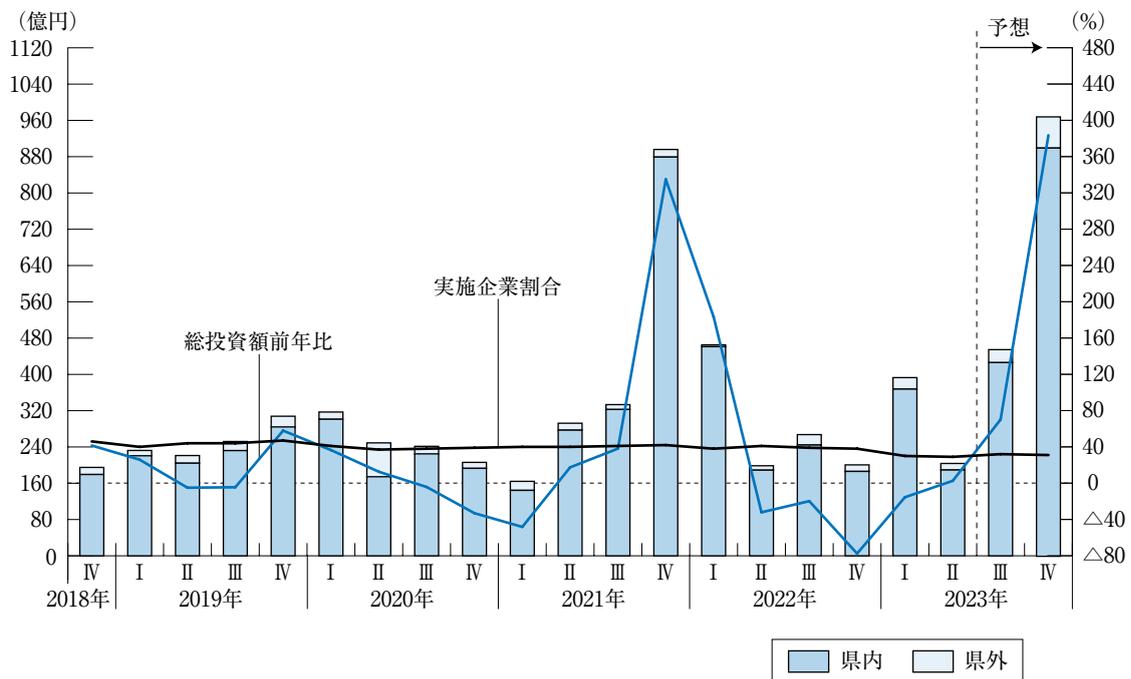
回答企業(全産業)のうち、Ⅱ期において1百万円以上の設備投資(リース契約を含む)を実施した企業は全体の29.4%、総投資額は203億62百万円(県内投資額は189億19百万円)であった。前年同期と比較すると、総投資額は全体で2.6%増(2023年Ⅰ期比 $\Delta 48.2\%$ 減)で、内訳は製造業が2.1%増、非製造業が7.3%増であった。なお、実施企業の割合は、11.6ポイント低下した。

先行きの計画をみると、Ⅲ期の実施企業割合は32.1%で前年同期より7.1ポイント低下、総投資額は約455億円で前年同期比70.2%増、続くⅣ期の総投資額は約969億円で383.2%増となる見込み。

今後1年間の設備投資意欲(全産業)は、「増やしたい」が20.0%、「減らしたい」が17.7%、「ほぼ変わらない」が62.3%であった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率は、全産業で2.3ポイント(2023年Ⅰ期 $\Delta 1.4$ ポイント)と5期ぶりにプラスとなった。業種別では、製造業が8.1ポイント(同3.2ポイント)、非製造業が0.0ポイント(同 $\Delta 3.1$ ポイント)といずれも改善した。



設備投資額（支払ベース）



製造業

Ⅱ期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、43.2%で前年同期より19.5ポイント低下した。総投資額は184億81百万円(前年同期181億02百万円)で、前年同期比2.1%増となった。うち県内投資額は176億13百万円(同171億78百万円)であった。

設備投資を目的別にみると、2023年Ⅰ期と比べ「合理化・省力化」、「研究開発」、「環境対策」などで比率が低下した一方、「増産・拡販のため」、「既存設備の補修更新」、「新規事業」で上昇した。

先行きの計画をみると、Ⅲ期の総投資額は約441億円で前年同期比77.9%増、続くⅣ期は約944億円で同470.7%増の見込み。

今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」とする企業割合（25.7%）が「減らしたい」（17.6%）を8.1ポイント上回り、プラス幅を拡大した。

非製造業

Ⅱ期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、24.1%で前年同期より6.5ポイント低下した。総投資額は18億81百万円(前年同期17億53百万円)で、前年同期比7.3%増となった。県内投資額は13億06百万円(同17億08百万円)となっている。

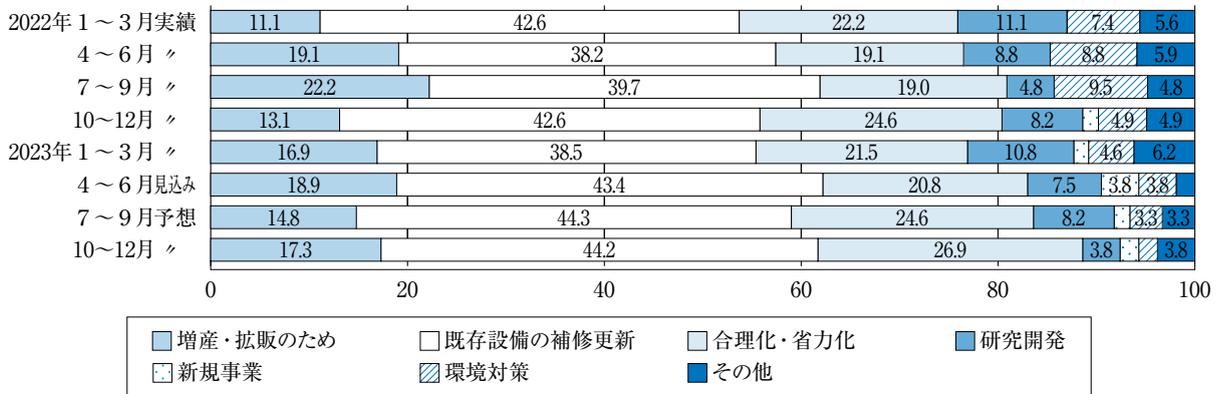
目的別にみると、2023年Ⅰ期と比べ、「既存設備の補修更新」、「研究開発」、「新規事業」などの比率が低下した一方、「拡販のため」、「店舗等の移転」などで上昇した。

先行きの計画をみると、Ⅲ期の総投資額は約14億円で前年同期比△28.2%減、続くⅣ期は約25億円で同△29.8%増となる見込み。

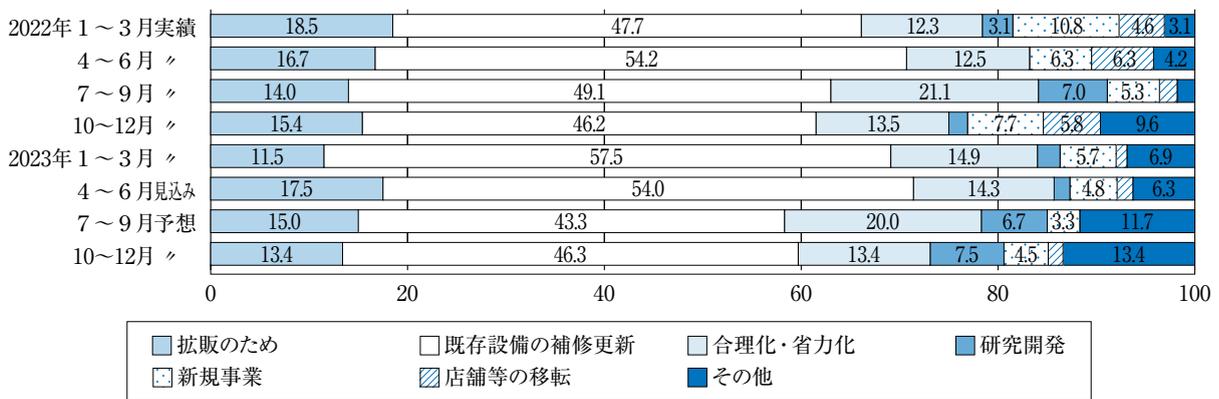
今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」とする企業割合（17.8%）と「減らしたい」（17.8%）が同じとなった。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	3	0	3
	1~3百万円未満	4	1	3
	3~5百万円未満	12	3	9
	5~10百万円未満	11	3	8
	10~50百万円未満	158	38	120
	50~1億円未満	50	21	29
	1億円以上	27	8	19
	計	265	74	191
従業員数	10人未満	34	4	30
	10~30人未満	75	23	52
	30~50人未満	47	11	36
	50~100人未満	47	8	39
	100~200人未満	29	9	20
	200~300人未満	16	9	7
	300~	17	10	7
計	265	74	191	

		(社)	
		業種	回答
製造業	食料品		14
	繊維製品		3
	木材・木製品		10
	パルプ・紙		2
	化学工業		9
	窯業・土石		5
	機械・金属		20
	その他		11
	計		74
	非製造業	建設業	
運送業			16
卸売業			43
小売業			33
サービス業			68
その他			2
計			191
総数		265	

参考資料

B S I

(1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2021年10～12月実績	20	63	17	3	△8	26	53	21	5	△8	18	66	16	2	△8
2022年1～3月々	14	57	29	△15	△13	11	58	31	△20	△14	15	57	28	△13	△11
4～6月々	14	51	35	△21	△17	7	57	36	△29	△25	17	48	35	△18	△13
7～9月々	11	58	31	△20	△15	17	43	40	△23	△21	8	66	26	△18	△14
10～12月々	13	65	22	△9	△20	15	54	31	△16	△28	12	71	17	△5	△15
2023年1～3月々	18	53	29	△11	△9	15	52	33	△18	△12	19	53	28	△9	8
4～6月見込み	11	61	28	△17	△13	5	64	31	△26	△22	13	60	27	△14	△9
7～9月予想	15	69	16	△1	4	20	62	18	2	5	14	71	15	△1	△8
10～12月々	18	70	12	6	△4	20	65	15	5	△7	17	72	11	6	△4

(2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2021年10～12月実績	40	40	20	20	1	57	26	17	40	13	32	47	21	11	△6
2022年1～3月々	28	37	35	△7	1	30	29	41	△11	7	27	41	32	△5	△1
4～6月々	29	36	35	△6	△1	31	30	39	△8	△2	28	39	33	△5	3
7～9月々	26	44	30	△4	1	33	34	33	0	2	22	49	29	△7	△2
10～12月々	32	49	19	13	△5	41	28	31	10	△16	27	60	13	14	△2
2023年1～3月々	28	42	30	△2	6	33	29	38	△5	12	27	46	27	0	3
4～6月見込み	22	48	30	△8	△3	24	42	34	△10	△4	20	50	30	△10	△3
7～9月予想	24	60	16	8	13	32	48	20	12	14	21	65	14	7	13
10～12月々	28	58	14	14	△4	34	50	16	18	△7	25	62	13	12	△4

(3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2021年10～12月実績	30	45	25	5	△8	47	22	31	16	△2	23	55	22	1	△10
2022年1～3月々	24	41	35	△11	△6	26	33	41	△15	△7	22	46	32	△10	△6
4～6月々	21	39	40	△19	△15	22	27	51	△29	△25	21	44	35	△14	△7
7～9月々	22	42	36	△14	△10	20	32	48	△28	△22	22	48	30	△8	△7
10～12月々	23	53	24	△1	△13	28	38	34	△6	△25	20	61	19	1	△10
2023年1～3月々	24	43	33	△9	△6	26	37	37	△11	△3	23	45	32	△9	△6
4～6月見込み	17	49	34	△17	△12	19	43	38	△19	△14	15	53	32	△17	△10
7～9月予想	19	59	22	△3	1	26	47	27	△1	6	17	63	20	△3	△2
10～12月々	25	59	16	9	△2	31	50	19	12	△7	23	62	15	8	△3

(注) B S I = (好転) - (悪化)